

令和6年3月定例教育委員会会議録

令和6年2月21日 定例熊谷市教育委員会を熊谷市役所6階603西会議室に招集する。

○ 出席者

野原 晃、松島 佳代子、加藤 道子、大石 聡一、小林 敏宏

○ 出席事務局

教育次長	権田 宣行
参事兼学校教育課長	中谷 樹
教育総務課長	長谷川 和博
社会教育課長	原 光則
社会教育課文化財保護・ 市史編さん担当副参事	吉野 健
教育総務課副課長	浅見 弘江
教育総務課主事	浅見 柚妃

13時30分 3月定例教育委員会開会

教育長が、令和6年3月定例熊谷市教育委員会の開会を宣言し、本会議の会議録の署名人に加藤委員を指名した。

事務局から傍聴希望者がいない旨の報告があった。

2月定例教育委員会の会議録については、出席委員全員の承認を得た。

教育長から、議案第8号、議案第9号、報告第3－7号は、人事案件のため非公開とし会議録に載せない旨の発議があり、出席委員全員が賛成し非公開で行われることに決定した。

日程第1（報告第3－1号）寄附申出について

教育総務課長から、熊谷教育推進のためとして、令和6年1月11日から令和6年2月10日までの期間、ふるさと納税が計1件、金額にして1万円の寄附申出をいただいたとの報告があった。

そのほか、行田市在住の金子欽一氏から、美術品として熊谷図書館に200万円相当の日本画屏風を、匿名の方から、学校給食のためとして現金10万円を、市内在住の村田哲雄氏から、歴史民俗資料として熊谷図書館に10万円相当の旧広瀬村関係古文書群を、匿名の方から、児童の体力向上のためとして熊谷南小学校に5万

1千円相当のサッカーボール15個を、それぞれ寄附申出いただいたとの報告があった。

日程第1（報告第3-2号）3月教育委員会行事予定について

教育総務課長から、2月27日から3月18日まで市議会3月定例会が開催され、3月29日には、学校教職員退職者感謝状贈呈式と3月臨時教育委員会を、4月1日には、学校教職員辞令伝達式と4月定例教育委員会をそれぞれ開催するとの報告があった。

日程第1（報告第3-3号）3月市議会定例会における教育委員会関連の議案の概要について

教育総務課長から、3月市議会定例会における教育委員会関連の議案の概要について説明があった。

初めに、令和5年度一般会計補正予算の歳出について、「学力向上対策推進事業」は、2月定例教育委員会で寄附申出の報告をした市民の方からの寄附金100万円を活用して、小中学校GIGAスクール構想事業の一人一台端末用の学習用ソフトを追加導入するもので、「小・中学校トイレ整備事業」は令和6年度事業を前倒して計上するもので、新堀小学校、妻沼南小学校、大幡中学校、大麻生中学校、江南中学校以上5校の校舎トイレについて、洋式化等改修工事を行うものであるとの説明があった。

また、「中学校維持管理経費」は、11月定例教育委員会で寄附申出の報告をした、江南中学校昭和42年度卒業生同窓会「みやび会」からの寄附金を活用して、江南中学校の部活動記録用デジタルカメラを購入するもので、「学校給食費負担軽減支援事業」は、食材価格の高騰による令和6年度からの学校給食費増額改定に伴う保護者の経済的負担軽減のため、増額改定分を支援するための経費であるとの説明があった。

次に歳入について、「学校施設環境改善交付金」は、歳出で説明した「小・中学校トイレ整備事業」への国の交付金で、「熊谷教育推進寄附金」は、令和5年10月から12月までに受入れした17件のふるさと納税について歳入補正するもの、「学力向上応援寄附金」と「中学校寄附金」は歳出で説明した寄附金を歳入補正するもの、「教育債」は、「小・中学校トイレ整備事業」の財源として借り入れる「学校施設整備事業債」を計上するものであるとの説明があった。

また、繰越明許費について、「小・中学校トイレ整備事業」は、国の補助金の追加交付決定に対応するため、翌年度事業を前倒しすることに伴い、全額を繰り越しするもの、「新熊谷学校給食センター整備事業」は、センター建設候補地の取得について売買契約を翌年度に締結するため繰り越しするもの、「学校給食費負担軽減支援事業」については、令和5年度に国から交付される物価高騰対応重点支援地方創生臨

時交付金を活用するもので、令和5年度に予算化し翌年度に全額を繰り越しして実施するものであるとの説明があった。

日程第1（報告第3－4号）令和6年度教育関係予算主要事業について

教育総務課長から、3月市議会定例会に提出した令和6年度予算主要事業の教育関係部分について説明があった。

初めに、令和6年度当初予算編成の基本方針について、令和6年度は本市の第2次総合振興計画後期基本計画がスタートして2年目を迎える年であり、市民皆様の参画の下、自律性が高く持続可能な魅力ある都市の実現を目指すまちづくりの指針を定めるとともに、次世代へと引き継ぐ本市の将来像を描いたもので、基本となる8つの政策を着実に推進するための予算を重点的に配分した予算編成方針としたものであるとの説明があった。

その内、教育委員会所管の主な事業として、「校外方式水泳授業導入事業」は、令和6年度から新たに中条小学校、桜木小学校を追加して、校外方式水泳授業を実施するもの、「小・中学校校舎大規模改造事業」は、国の交付金追加交付決定を受け、12月補正予算に前倒しして予算を計上し、令和6年度に繰り越しして執行するもので、玉井小学校、籠原小学校、別府中学校の校舎大規模改造工事を実施するとの説明があった。

次に、「公民館修繕等推進事業」は肥塚公民館の大規模改修工事を実施するもの、「斎藤実盛と妻沼聖天山マンガ制作事業」は、妻沼聖天山と熊谷の偉人「斎藤実盛」について親しみやすいマンガを制作し、その事績を広く伝え郷土への誇りを醸成するもの、「図書館郷土資料デジタル化推進事業」は、本市が所蔵する古い地図などの貴重な郷土資料の劣化を抑制し後世に記録を継承するため、デジタル化、保存処理及び複製品の作成等を実施するもの、「展示品レプリカ作製事業」は、郷土熊谷に関連する国指定重要文化財であり東京国立博物館が所蔵する「武人埴輪」について、精密な複製品を作製し、博物館施設等で展示して広く熊谷の文化・歴史をPRすることで郷土への関心を促すもの、「地域会館整備事業」は老朽化した地域公民館等の機能を引き継ぎ、生涯学習・地域活動の拠点となるべき地域会館の整備に着手するもので、令和6年度は測量及び地質調査のほか、建物の設計を行うものであるとの説明があった。

また、債務負担行為について、「妻沼西小学校スクールバス運行業務委託」は、令和7年4月から妻沼の小学校3校を統合して、新たに開校する妻沼西小学校のスクールバス運行業務に係る経費で、令和6年度中に業者選定から契約締結までの準備手続を完了する必要があることから債務負担行為を設定するもの、「新熊谷学校給食センター整備事業アドバイザー業務委託」は、センターをPFI手法により整備・運営するに当たり、実施方針の策定から事業者との契約の締結までに至る一連の業

務について、必要となる金融、法務、技術面などの支援や調査・検討、資料作成等の支援を行う業務で、令和6年度から令和7年度にかけて実施するものであるが、その令和7年分の予算について債務負担行為を設定するもの、「成田星宮小学校スクールバス等運行業務委託（改定分）」は、現在運行している成田星宮小学校のスクールバスについて、国の貸切バスの運賃・料金の改定があり、それに対応するため現在の債務負担行為の限度額を増額改定分に合わせて変更するためのものであるとの説明があった。

日程第1（報告第3－5号）教育長職務代理者の指名について

教育総務課長から、令和6年4月1日からの教育長職務代理者について、教育長が大石聡一教育委員を指名したとの報告があった。

日程第1（報告第3－6号）公益財団法人熊谷市文化振興財団令和6年度事業計画書について

社会教育課長から、公益財団法人熊谷市文化振興財団の事業計画書及び収支予算書について説明があった。

事業計画の主なものとして、公益目的事業では交響楽団等の育成に関する事業、芸術文化活動における参加の促進に関する事業、舞台芸術等の鑑賞機会の提供に関する事業等を、収益目的事業では施設貸館や図書館業務の受託等が主な内容であるとの説明があった。収支予算について、収支それぞれの合計額は3億9,376万5千円で、前年度比820万9千円増であるとの説明があった。

なお、当該計画書は、3月市議会定例会において地方自治法の規定に基づき報告し承認を得る予定のもので、財団の理事会及び評議会において、既に議決済みであるとの説明があった。

（その他）後援等承認決定した事業一覧について

教育総務課長から、令和6年1月16日から令和6年2月15日までに後援等承認決定した事業が18件あったとの報告があった。

日程第2（議案第8号）非公開

（議案は、原案どおり可決）

日程第2（議案第9号）非公開

（議案は、原案どおり可決）

日程第1（報告第3－7号）非公開

ほかに報告はなく、教育長の宣言により、令和6年3月定例熊谷市教育委員会を閉会した。

(14時40分 閉会)

署名 教育長 野原 晃

委員 加藤 道子